



Session Manager の設定

この章では、Cisco NX-OS デバイスで Session Manager を設定する方法について説明します。

この章は、次の内容で構成されています。

- セッション マネージャについて, [on page 1](#)
- セッション マネージャの前提条件 (2 ページ)
- Session Manager の注意事項および制約事項 (2 ページ)
- Session Manager の設定 (2 ページ)
- Session Manager 設定の確認, [on page 5](#)
- Session Manager のコンフィギュレーション例, [on page 6](#)
- その他の参考資料 (6 ページ)

セッション マネージャについて

Session Manager を使用すると、設定変更をバッチ モードで実行できます。Session Manager は次のフェーズで機能します。

- コンフィギュレーション セッション : Session Manager モードで実行するコマンドのリストを作成します。
- 検証 : 設定の基本的なセマンティック チェックを行います。Cisco NX-OS は、設定の一部でセマンティクス 検査が失敗した場合にエラーを返します。
- 検証 : 既存のハードウェア設定、ソフトウェア設定、およびリソースに基づいて、設定全体を確認します。Cisco NX-OS は、設定がこの確認フェーズで合格しなかった場合にエラーを返します。
- コミット : Cisco NX-OS はコンフィギュレーション全体を確認して、デバイスに対する変更を実行します。エラーが発生すると、Cisco NX-OS は元の設定に戻ります。
- 打ち切り : 設定変更を実行しないで廃棄します。

任意で、変更をコミットしないでコンフィギュレーション セッションを終了できます。また、コンフィギュレーション セッションを保存することもできます。

高可用性

Session Manager セッションは、スーパーバイザのスイッチオーバー後も引き続き使用できます。セッションはソフトウェア リロード後までは維持されません。

セッションマネージャの前提条件

使用する予定の Session Manager コマンドをサポートする権限があることを確認してください。

Session Manager の注意事項および制約事項

Session Manager には、次の注意事項および制限事項があります。

- 1つのセッションを使用して実行できるサービスアクセス ポイント (SAP) は1つだけです。
- 設定セッションは、リロード後に保持されません。
- Session Manager は、アクセス コントロール リスト (ACL) および Quality of Service (QoS) 機能だけをサポートします。
- 作成できるコンフィギュレーション セッションの最大数は 32 です。
- すべてのセッションで設定できるコマンドの最大数は 20,000 です。
- 複数のコンフィギュレーション セッションまたはコンフィギュレーション ターミナル モードで、コンフィギュレーション コマンドを同時に実行することはできません。パラレル コンフィギュレーション (例えば1つのコンフィギュレーション セッションと1つのコンフィギュレーション ターミナル) は、コンフィギュレーション セッションで確認または検証が失敗する原因になります。
- コンフィギュレーション セッションで、あるインターフェイスを設定中にそのインターフェイスをリロードすると、そのときにインターフェイスがデバイス上になくても、セッション マネージャがコマンドを受け取ることになります。
- 次の Cisco NX-OS リリース以降、ネットワーク管理者ユーザーは既存のセッションを構成または削除できます。
 - 10.5(1)F

Session Manager の設定



(注)

Cisco NX-OS コマンドは Cisco IOS コマンドと異なる場合があるので注意してください。

セッションの作成

作成できるコンフィギュレーションセッションの最大数は 32 です。

SUMMARY STEPS

1. **configure session *name***
2. (Optional) **show configuration session [*name*]**
3. (Optional) **save *location***

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	configure session <i>name</i> Example: <pre>switch# configure session myACLs switch(config-s)#</pre>	コンフィギュレーションセッションを作成し、セッションコンフィギュレーションモードを開始します。名前は任意の英数字ストリングです。 セッションの内容を表示します。
ステップ 2	(Optional) show configuration session [<i>name</i>] Example: <pre>switch(config-s)# show configuration session myACLs</pre>	セッションの内容を表示します。
ステップ 3	(Optional) save <i>location</i> Example: <pre>switch(config-s)# save bootflash:sessions/myACLs</pre>	セッションをファイルに保存します。保管場所には bootflash:、slot0:、または volatile: を指定できます。

セッションでの ACL の設定

コンフィギュレーションセッションで ACL を設定できます。

SUMMARY STEPS

1. **configure session *name***
2. **ip access-list *name***
3. (Optional) **permit *protocol source destination***
4. **interface *interface-type number***
5. **ip access-group *name {in | out}***
6. (Optional) **show configuration session [*name*]**

セッションの確認

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	configure session name Example: switch# configure session myacls switch(config-s)#	コンフィギュレーションセッションを作成し、セッションコンフィギュレーションモードを開始します。名前は任意の英数字ストリングです。
ステップ 2	ip access-list name Example: switch(config-s)# ip access-list acl1 switch(config-s-acl)#	ACLを作成し、そのACLのコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 3	(Optional) permit protocol source destination Example: switch(config-s-acl)# permit tcp any any	ACLに許可文を追加します。
ステップ 4	interface interface-type number Example: switch(config-s-acl)# interface ethernet 2/1 switch(config-s-if)#	インターフェイスコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 5	ip access-group name {in out} Example: switch(config-s-if)# ip access-group acl1 in	アクセスグループを適用するトラフィックの方向を指定します。
ステップ 6	(Optional) show configuration session [name] Example: switch(config-s-if)# show configuration session myacls	セッションの内容を表示します。

セッションの確認

セッションモードで次のコマンドを使用して、セッションを確認します。

コマンド	目的
verify [verbose] 例: switch(config-s)# verify	既存のハードウェアおよびソフトウェアのコンフィギュレーションおよびリソースに基づいて、コンフィギュレーション全体を確認します。Cisco NX-OSは、設定がこの確認で合格しなかった場合にエラーを返します。

セッションのコミット

セッション モードで次のコマンドを使用して、セッションをコミットします。

コマンド	目的
commit [verbose] 例: switch(config-s)# commit	現在のセッションで行われたコンフィギュレーションの変更を検証し、有効な変更をデバイスに適用します。検証に失敗した場合、Cisco NX-OS は元の設定に戻ります。

セッションの保存

セッション モードで次のコマンドを使用して、セッションを保存します。

コマンド	目的
save location 例: switch(config-s)# save bootflash:sessions/myACLs	(任意) セッションをファイルに保存します。保管場所には bootflash:、slot0:、または volatile: を指定できます。

セッションの廃棄

セッション モードで次のコマンドを使用して、セッションを廃棄します。

コマンド	目的
abort 例: switch(config-s)# abort switch#	コマンドを適用しないで、コンフィギュレーションセッションを廃棄します。

Session Manager 設定の確認

Session Manager のコンフィギュレーション情報を表示するには、次の作業のいずれかを行います。

コマンド	目的
show configuration session [name]	コンフィギュレーション ファイルの内容を表示します。
show configuration session status [name]	コンフィギュレーション セッションのステータスを表示します。

■ Session Manager のコンフィギュレーション例

コマンド	目的
show configuration session summary	すべてのコンフィギュレーションセッションのサマリーを表示します。

Session Manager のコンフィギュレーション例

Session Manager を使用して ACL コンフィギュレーションを作成し、コミットする例を示します。

```
switch# configure session ACL_tcp_in
Config Session started, Session ID is 1
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-s)# ip access-list ACL1
switch(config-s-acl)# permit tcp any any
switch(config)# interface e 7/1
switch(config-if)# ip access-group ACL1 in
switch(config-if)# exit
switch(config)# exit
switch# config session ACL_tcp_in
Config Session started, Session ID is 1
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-s)# verify
Verification Successful
switch(config-s)# commit
Commit Successful
switch#
```

その他の参考資料

関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
コンフィギュレーションファイル	『Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Fundamentals Configuration Guide』

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。